

## 小田原市民総合体育大会 各競技における感染症対策について

小田原市民総合体育大会は、下記のとおり基本的な感染症対策を行うとともに、各競技において必要な対策を講じ大会を開催してまいります。記載がない事項についても主管する競技団体から指示があった場合は、従ってください。

### 基本的な対策

- ・出場選手の体温や体調の確認(チェックシートの提出)      ・競技中以外のマスク着用      ・大声での応援禁止
- ・手指消毒の実施      ・ボールや用具等の定期的な消毒      ・ソーシャルディスタンスの確保

競技名	対策内容
軟式野球	試合中ベンチの選手は、マスクを着用する。
ソフトボール	基本的な対策を実施している。
サッカー	原則無観客であるが、チーム関係者及び地区関係者については、必要最低人数での入場をお願いする。 試合開始前、終了後の挨拶中止(相手選手との握手中止)
バスケットボール	各試合は完全入れ替え制とする。毎試合終了後、ベンチ、TO席を消毒し、次のチームと入れ替わる。 次試合以降のチームは観客席で待機し、前試合のチームがベンチからいなくなったら移動する。 ハーフタイム時の次試合のウォーミングアップは不可とする。
ソフトテニス	原則無観客であるが、監督・役員の入場は認める。
バドミントン	開催施設の感染症対策ガイドラインに沿って人数調整等を行っている。
卓球	観客は事前に体温を測る。1階フロアには入れない。開会式は行わず、代表者会議により、当日の進行を説明する。 その際、代表者のみフロアに降りて、他の選手は2階観客席で待機する。練習は予選リーグ開始前に行う。
バレーボール	開会式は行わず、受付時に代表者による打合せを行う。チェンジコートはしない。どちらかのチームが11点先取した時点で、給水のためのテクニカルタイムを取る。試合終了後は、各チームでベンチの消毒を行うこと。 (女子のみ)サブアリーナの観客席は、試合を行っているチーム関係者のみ入場を認める。
剣道	無観客で行う。監督及び付き添い1名の入場は可能とする予定。 競技中における「面マスク」着用と面に「マウスシールド」装着を義務付けている。 コロナ収束までの暫定的審判法の運用(全日本剣道連盟による)
弓道	基本的な対策を実施している。
陸上競技	無観客であるため、保護者や応援者は競技場内に入場できません。各地区の入場者は最小限の人数をお願いする。 体調管理チェックシート(一般・大学生別紙1、中学生・高校生別紙2)により選手の体調を確認し、大会当日に参加状況報告書(別紙3)を陸上競技協会へ提出すること。
ペタンク	無観客で行う。当日、参加者及び大会役員等全員の検温を大会本部にて実施する。
ゴルフ	基本的な対策を実施している。
グラウンドゴルフ	入場は必要最小限をお願いする。
テニス	基本的な対策を実施している。
インディアカ	会場をゾーン分けし、競技運営エリアの立入り制限を行う。肩組み、ハイタッチ、握手の禁止。